

【公募説明会 7月26日（金）10:00～11:00】

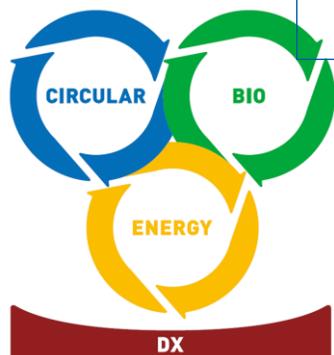


海洋における食料生産に関する技術動向調査

※原則として、**カメラオフ**、**音声ミュート**でお願いします。事務局側から強制的に操作させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

※会議においてご発言をされたい方は**ミュートを解除してご発言**いただくか、**チャット**、**挙手機能**をご利用下さい。なお、**挙手機能**をご利用いただいた場合、**発言後オフ**にしていただきますようお願いいたします。

※音声聞き取りにくいという場合は、随時、ご指摘いただければ幸いです。ただし、ネットワークやシステムの問題などで生じている場合は、事務局では対応が出来ないことがあることもご理解いただけますようお願いいたします。



国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション戦略センター（TSC）
アグリ・フードテックユニット



1. 調査仕様について

【1】 目的

【2】 内容

2. スケジュール等

3. 提案書類の提出（期限、提出先等）

4. その他

https://www.nedo.go.jp/koubo/NA2_100227.html

1. 調査仕様について 【1】 目的

近年の世界的な人口増加に伴い 2050 年には食料需要量は 2010 年比で 1.7 倍に達すると予想され、食料需給のひっ迫が懸念される状況にある。また、現在の食料生産システムには、温暖化に伴う異常気象の頻発、肥料や灌漑用地下水の枯渇等の進行、化学肥料・農薬の多用等による自然循環への悪影響、温室効果ガスの排出等様々な課題が内在している。

一方で、海洋に目を向けると、脱炭素化に向けた吸収対策の選択肢としてブルーカーボンが国連環境計画によって定義され、世界的に注目が集まる中で様々な研究開発が進展。また、塩害対策としての農作物の耐塩性に関する研究、食料生産を見据えた海水利用に関する研究、海藻/海草の生産、食料利用及び食品原料の利用に関する研究開発等も進み、その活用・実装が期待される。

本調査では、将来における環境負荷が小さい若しくは脱炭素化に貢献しうる持続可能な食料生産を意図した海洋における食料生産に関する研究開発・技術開発の動向及びその拡大可能性と食料生産能力、水資源保全効果、脱炭素化効果等の評価に資するデータの収集を目的とする。

- 将来的に技術を海外展開することも想定し、調査対象は国内外とする
- 海洋における持続可能な食料生産を主目的とし、水資源保全効果、脱炭素化効果は副次的な効果として期待

1. 調査仕様について 【2】 内容

海洋における食料生産に関する技術動向を把握するため、「目的」を十分に踏まえた情報収集、分析及び評価等の調査業務を実施することとし、原則として以下に示す（１）～（３）の項目に沿って実施すること。また、文献調査やヒアリング等を行い、調査内容や検討内容等についての妥当性を担保すること。なお、本調査の調査対象は国内外とし、後述の将来マーケットに関しても国内外での展開を想定して検討を進めること。

- （１）関連技術領域の抽出、整理
- （２）関連技術領域における研究開発・技術開発動向調査
- （３）整理した技術の実装による将来マーケットの展望と評価

- 食料生産能力、水資源保全効果、脱炭素化効果等により一定の評価は実施するものの、技術の絞り込みは行わない
- 評価方法についてはNEDOと協議の上で決定し、評価を進めることとする
- 定性的な評価については有識者に対するヒアリング等による評価が望ましい

1. 調査仕様について 【2】 内容

(1) 関連技術領域の抽出、整理

本調査では、将来的に持続可能な食料生産を意図した海洋における食料生産に係る技術領域の抽出、整理を実施する。技術領域の抽出、整理にあたっては、研究・技術開発が先行している領域に囚われることなく、広く将来的に関係が想定される技術領域についても抽出し、以下に示す技術領域を含めること。また、調査結果の理解・評価に必要な知見・基礎データ等について、解説として整理し併せて提示すること。

- ① 海水を利用した植物・農作物の栽培に関する技術領域
- ② 海藻/海草の利用用途の拡大に関する技術領域
- ③ 海洋における食料生産施設に関する技術領域

- キーワードに海洋、海水等の語句が含まれていない場合でも、植物・農作物の生育、栽培環境の調節・制御等に関する技術も関係技術領域として注視
(例：砂漠の緑地化、塩類集積対策、宇宙農業等)

1. 調査仕様について 【2】 内容

(2) 関連技術領域における研究開発・技術開発動向調査

(1) で抽出した関連技術領域における研究開発・技術開発事例を洗い出し、その要点を提示するとともに、以下に示す概要についても整理すること。

- ① 研究開発・技術開発が目指すビジョン、ミッション
(基礎研究に注力した研究についても対象外とはしない)
- ② 研究開発・技術開発体制の概要
(政府機関の協力・援助の有無、ファンド等による投資の有無、組織体制、リソース、協業・競合状況等)
- ③ 技術成熟レベル (TRL)
- ④ 関連知的財産の有無 (関係者による出願特許の有無)

- 本調査における主要なアウトプットとして整理、報告すること
- TRLについては、2～4程度の比較的基礎的な部分についても調査対象となることを想定

(3) 整理した技術の実装による将来マーケットの展望と評価

(2) で整理した技術が実装された将来マーケットを構想し、食料生産能力、水資源保全効果、脱炭素化効果等について試算・評価を行うこと。この将来マーケットは、複数の研究開発・技術開発の組合せ、協業によって到達できるものも含めて検討すること。また、将来マーケットの実現に向けたシナリオについても提案すること。

なお、技術・将来マーケットの評価に際して、参照可能な評価手法がある場合はその手法に基づいた評価結果を提示すること。ただし、現時点では、明確な評価手法が存在しない可能性もあり、調査結果に基づいた定性的な評価も可とする。

- 本調査では、将来マーケットについては創造的な構想を期待
- 評価方法についてはNEDOと協議の上で決定し、評価を進めることとする
- 定性的な評価については有識者に対するヒアリング等による評価が望ましい

2. スケジュール等

- 予算金額 1,100万円以下
 - スケジュール
 - 7月19日（金）公募開始 8月19日（月）正午 締切
 - 8月下旬 採択決定
 - 9月上旬 調査開始
 - 12月中旬頃 中間整理（調査スケジュールにより調整）
 - 3月31日 調査終了（終了期日を切り上げることは可能）
 - 注意事項
 - 本調査の目的達成に向け、情報を補完する調査項目を追加することは妨げない
 - その他、NEDOから要請があった場合は、協議のうえ、可能な限り反映する
 - NEDO担当者に対し対面又はWeb会議等によりひと月に1回程度以上の進捗報告を行うこと
 - 調査期間は、3月31日以前に終了するように実施計画を立てることを可能とする
 - 委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会等における報告を依頼することがある
-
- スケジュールについては想定であり、NEDOの調査方針や協議により変更可能性あり

3. 提案書類の提出（期限、提出先等）

TSC Agriculture and Food Technology Unit

本公募要領に従って「提案書」を作成し、その他添付書類とともに提案書類として以下の**提出期限までにアップロードを完了**させてください。なお、**持参、郵送、FAX又は電子メールによる提出は受け付けません。**

（1）提出期限 2024年8月19日（月）正午アップロード完了

応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトでお知らせいたします。なお、NEDO公式X*をフォローいただくと、ウェブサイトに掲載された最新の公募情報に関するお知らせをXで確認できます。是非、フォローいただき、ご活用下さい。

（2）提出先 Web入力フォーム（HPリンク）

必要入力項目は、次ページをご参照ください。

- ※ 送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。
- ※ 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に締め切り直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

3. 提案書類の提出（期限、提出先等）

- 『（2）提出先』のWeb入力フォームで右記の①～⑯を入力ください。なお、Web入力フォームは一時保存ができませんので、ご注意ください。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- 提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。また、再提出の場合は再度、全資料を再提出してください。
- アップロードするファイルは、全てPDF形式で、一つのzipファイルにまとめてください。
- 提出された提案書類を受理した場合は、提案者にメールで受理の旨を通知します。

■ 記入項目

- ① 調査名
- ② 代表法人番号（13桁）
- ③ 代表法人名称
- ④ 代表法人連絡担当者氏名
- ⑤ 代表法人連絡担当者職名
- ⑥ 代表法人連絡担当者所属部署
- ⑦ 代表法人連絡担当者所属住所
- ⑧ 代表法人連絡担当者電話番号
- ⑨ 代表法人連絡担当者Eメールアドレス
- ⑩ 調査目標
- ⑪ 提案する方式・方法の内容（要約）
- ⑫ 調査課題（要約）
- ⑬ 調査実績（要約）
- ⑭ 提案額
- ⑮ 共同提案法人名（複数の場合は、列記）
- ⑯ 初回申請受付番号（再提出の場合のみ）
- ⑰ 提出書類（提出書類のアップロード、最大100MB）



4. その他



TSC Agriculture and Food Technology Unit

本公募に関するお問い合わせは、HPに記載の以下まで
お願いします。

NEDO イノベーション戦略センター アグリ・フードテックユニット

担当者：宇木、三代、渡邊

TEL：044-520-5200 E-MAIL：tsc-ntfm-u@ml.nedo.go.jp

(7月1日より、組織名称が変更となりました)



ご清聴ありがとうございました